平成 24 年度　事務事業評価シート(平成 23 年度実施事業)

整理番号	教生スO1

事務事業名	健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場増設事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4 魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費
	施策(節)	4 市民スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	(3) 施設の有効活用と効率的な管理運営		目	3	体育施設管理運営費
				事業	57	健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場管理運営
関連する計画等			作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課		
			連絡先	072 - 958 - 1111　内線　4411		

事業の目的

対象（誰を・何を）

市民

意図（どういう状態にしたいのか）

グラウンド・ゴルフを通じて、市民の健康・体力づくりと利用者相互の親睦・交流を図る。

事業の内容

平成２１年１１月にオープンしたグラウンド・ゴルフ場（１６ホール）に隣接し、新たに８ホールの整備を行う。（平成２４年４月に完成予定である。）
あわせて２４ホールにすることにより、さらに市民が気軽にスポーツに触れ合うことができ、また、主に夏休み期間中に子どもたちが水景施設の水辺で親しむことが可能となる。
敷地面積（約14,000㎡）今回施工（約4,000㎡）

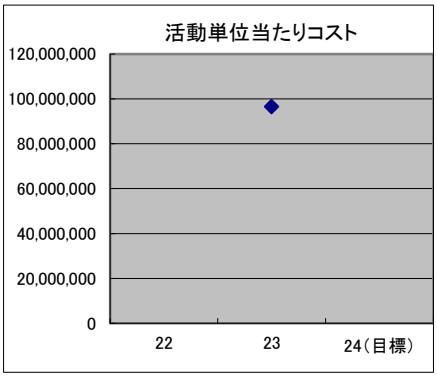
根拠法令等	スポーツ基本法		
事業開始時期	平成　23 年度開始	終了年度	平成 23 年度
事業開始時からの状況変化			
市民や議会の要望			

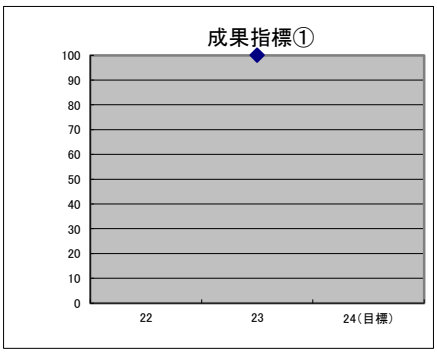
実施手法：☑ 直営　☐ 一部委託　☐ 全部委託　☐ 補助金・助成金　☐ その他（　　）

委託先			委託内容
☐ 外郭団体委託	名称		
☐ 民間委託			

区分		22年度（実績）	23年度（実績）	24年度（見込み）
事業費【1】	（千円）	0	95,797	0
人件費【2】	（千円）	0	690	0
職員数	正規職員	0.00 人	0.10 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)（時間）	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費（【1】＋【2】）【A】	（千円）	0	96,487	0
財源内訳	国費（千円）			
	府費（千円）			
	市債（千円）			
	その他　（手数料・使用料等）（千円）		52,356	
	一般財源（千円）	0	44,131	0

活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	22年度	23年度	24年度(目標)
① 工事件数	件	0	1	0
②		0	0	0
③		0	0	0
活動単位当たりコスト（【A】／【B】①）		円	96,487,000 円	円
市民１人当たりコスト（【A】／人口）		0 円	824 円	0 円





成果指標（事業目的の達成度を測る指標）

	指標名	単位	指標設定の考え方		平成22年度	平成23年度		平成24年度
①	事業進捗状況 (式)　（累積事業経費÷全体事業経費）×１００	%	事業全体を１００とした場合の工程の進捗度合	目標		100	達成率(%)	
				実績		100	100.0%	
②	(式)			目標			達成率(%)	
				実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民の生涯スポーツの場としての施設を整備するうえで、市の関与は必要である。
	○	○				○	○	○			

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☑	☐	☐	施設の整備・開設により、利用者個人の意思で参加（利用）することができ、健康づくり及び利用者間の交流につながる。また、民間活力だけでは施設整備及び管理が困難であり、本整備を行うことで、大阪府下の同種施設の中で規模的にも最大級となり、市のＰＲにつながる。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☑	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☑	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☑	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☑	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☑	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☑	
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☑	☐	☐	既存のグラウンド・ゴルフ場（１６ホール）と隣接しており、また、住宅開発用地と一体的な整備をすることで、経費の削減につながる。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☑	
		人員を削減する余地がない	☑	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☑	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☑	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☑	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☑	☐	☐	
	有効性	上位の施策（目的）が明確である	☑	☐	☐	「南河内・健康ふれあいの郷構想」に基づき整備区域内に位置する当該地で、緑豊かな自然と親しむ施設として、整備をめざしている。
		上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☑	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☑	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☑	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☑	☐	☐	地域住民の声を聞き、地域の憩いの場として施設の整備をめざしている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☑	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☑	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☑	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☑	☐	☐	実施設計に基づき、計画工期内に完成させる。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☑	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☑	

担当部局評価

総合評価

☐ 拡大・充実　☐ 現状維持　☐ 方法改善　☐ 民営化・民間委託　☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☑ 完了

評価の理由

新たなグラウンド・ゴルフ場については、池やクリークを配置するなど、既存のグラウンド・ゴルフ場とは趣の異なる整備を行うとともに、夏休みには、子どもたち等が水遊びなどを楽しむことができる憩いの場としての機能も有する施設として、平成２４年４月に完成した。

今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）